

第七回

AYF スピーチ
2002年 発表会原稿集



道程

高村光太郎

僕の前に道はない

僕の後ろの道出来る

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちにさせた広大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の気はくを僕に満たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため



いつも何度でも 覚 和歌子
呼んでいる 胸のどこか奥で
いつも心踊る 夢を見たい

かなしみは 数え切れないけれど
その向こうできっと あなたに会える

繰り返す*あやまちの そのたび ひと
ただ青い空の 青さを知る
果てしなく 道は続いているけれど
この両手は 光を抱ける

さよならのときの しずかな胸
ゼロになるからだか 耳をすませる

生きている不思議 死んでいく不思議
花も風も街も みんなおなじ

呼んでいる胸のどこか奥で
いつも何度でも 夢を描こう

かなしみの数を言い尽くすより
同じくちびるで そっとうたおう

閉じていく思い出の そのなかにいつも
忘れたくない ささやきを聞く
こなごなにくだかれた 鏡の上にも
新しい景色が 映される

はじまりの朝の 静かな窓
ゼロになるからだ充たされてゆけ

海の彼方には もう探さない
輝くものは いつもここに
わたしのなかに 見つけられたから



目次



シュバッシュ チャンドロ ダス

テーマ 私の初めの仕事

MD. モホッボト アリ

テーマ いつもいい面から感じてください



ソン コサル

テーマ カンボジアの先生の生活

ピン ピドー

テーマ ある未亡人の人生



ウィスヌ ワルダナ ハリアディ

テーマ 変化

イエッシ ペルマナ

テーマ AYP の奨学金

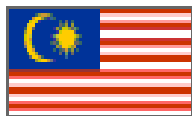


ブンヘン スティシヤック

テーマ 質問

タンマボンサー ブンナーリアム

テーマ 欲張り



オンスンアン

テーマ 違う民族と結婚すること

リャオ チチェン

テーマ 挑戦



ジョ ソー ウィー

テーマ 怒るとき

キン タン ミン

テーマ 若者よ、希望を抱け



アントニー シンコ セレス

テーマ AYP の言葉

アマポーラ ヘネロサ

テーマ 人生はチョコレートボックス



陳美玲

テーマ 私の心のヒーロー



スコンタラット ニティシリ

テーマ 手

ジリヤポーン サウトン

テーマ 周りの意見



ファム ヴー タン ロン

テーマ 嫌なこと

私の初めての仕事



周りに人といい関係を作るのは大切ですね。
その中でも仕事仲間といい関係を作ることは特に重要です。

皆さん、仕事をしている時もちろんいろいろな経験をしますね。皆さんの初めての仕事はどうでしたか。何か面白いことを思い出しますか。私は今日、私の初めての仕事について話したいと思います。

私はバングラデシュ農業大学で養鶏学を勉強しました。一生懸命努力し、私は常にクラスの中でトップになりました。ちょうど卒業する日私は銀行で働くチャンスを得ました。それは国立銀行での仕事でした。バングラデシュでは仕事がとても少なく、特に国営の会社で働くチャンスを得るのは大変なことです。私は運が良かったと思いながら、すぐ両親に電話をかけました。家族もこのことを聞いて、とても喜んでくれました。しかし、私の頭の中に一つの疑問がありました。私の勉強した養鶏学の知識と銀行の仕事は全然違います。その時、私の専門にあった仕事をするべきかと

考えました。考えた末に、お金が必要だと思って銀行で働くことに決めました。仕事が始まる前の日は、夜遅くまでいろいろなことを考えてあまり寝られませんでした。

その銀行で働いている人は18人いましたが、皆私より年上でした。その人達の中には私と同じポジションの人もいたし、もっと低いポジションの人もいました。しかし、私はそういうことは考えないでその人達と友達になり、いっしょに仕事をしたいと思っていました。ところが、仕事をしていたら何か問題が生じた特に、同僚に頼んでみたのですが、残念なことにだれも私を手伝ってくれなかったのです。

どうしてあの人達が私を手伝ってくれなかったのか、私は今も分かりません。私はまだ入ったばかりだったのに二十年以上仕事をしている人と同じぐらい給料をもらっていたからでしょうか。それで、あの人達は私に対していやな気持ちを持っていたのでしょうか。でも、相手が避けてもあの人達に対しての自分の気持ちを変えず、ぜひ自分は近づこうとずっと頑張っていました。同僚は毎日5時に銀行が終るとうちへ帰りましたが、社長だけは遅くまで働いていました。その時、私も社長といっしょに遅くまで仕事をしようと考え、すぐにうちへ帰らずに働いていました。そして、問題がある時は社長に相談するようになりました。その時、私は毎晩銀行で働くために必要な本を読んで、いろいろなことを学びました。本を読んだり、問題がある時社長に相談したりして金融知識が深くなり、いい仕事をできるようになってきました。毎日遅くまで社長といっしょに仕事をしていたので社長にほめられることもありました。銀行で働き始めて2年ぐらいたった後、バングルadesh農業大学で教えるいいチャンスをもらい、銀行の仕事をやめることにしました。仕事をやめる前ぐらいから同僚の気持ちもだんだん変わってきたように感じました。私にの対する同僚の態度が少しずつ良くなっていたのです。銀行をやめるの日、彼らは前のことを思い出して、私に[ごめんなさい] と言ってくれました。その時、ほんとにうれしかったです。

彼らが彼ら自身で、自分のしたことが悪かったことに気がつき、それを改めてくれたことが、本当にうれしかったのです。皆さん、周りに人といい関係を作るのは大切ですね。その中でも仕事仲間といい関係を作ることは特に重要です。

いつもいい面から感じてください



色々大変なこともあるかもしれません。
その時、悪い点から考えないでいい面から考えてください

皆さん、人生は色々いいことも悪いことも起こりますね。いい経験はいいですが、大変な経験はどうですか。私は AYFP に入ってから大変なことを色々経験しました。そのことについてちょっとお話ししたいです。

皆さん、マレーシアへ来て、最初に入ったウィスマ・ベリアという寮のことを覚えていますか。多分、覚えていますね。私はそこでの生活のことを考えると自然に目から涙が出てきます。そこにいた時は、朝6時に起きないとスクール・バスに間に合いませんでした。初めの日、同じ部屋の友達のシュバッシュさんはたった30秒か40秒遅れたために、バスに遅れてしまいました。それから毎日ちょうど6時に起きました。6時に起きて時々、シュバッシュさんに「今、朝？夜？何も見えないよ。ぼくたちはどこへ来たんだろう。」と言いました。シュバッシュさんは目を開けないで、私に「朝だよ。日本人にとって朝。多分バングラデシュ人にとっては夜だよ。」と答えました。マレーシアの有名なナシレマのことはまだ先輩から聞いていなかったもので、冷蔵庫に入れておいた食べられないほど冷たくて硬いパンを食べて学校へ来ていました。そして、口では説明できないような難しい、しかし、おもしろい三種類の日本語の文字の授業を受けていました。

AYFの先生方はとても厳しいですね。学校の規則も大変厳しいです。文字のテストで80%以上を取らないと、とてもきれいなコートを着たペンギンのスタンプをもらいます。そして、その次の日、昼ご飯の前にペンギン・テスト、つまり追試を受けないと昼ご飯を食べに行くことができません。ペンギン・テストを受けると、昼ご飯の後で復習する時間がないので、その日のテストでもう一度ペンギンをもらうのは言うまでもありません。時々、ペンギン・テストのことを忘れたふりをして、昼ご飯に行こうとすると「あれっ、アリさん、ペンギン・テストあるんじゃない？」という声が聞こえました。毎日このような生活を送っていたせいで私は気分が悪くなってしまいました。その時、「じゃ、国へ帰った方がいいんじゃないか。」と考えました。

しかし、この後、静かに自分で自分に質問しました。どうして先生方や学校の規則は大変厳しいのですか。学生たちをいじめるためですか、私達にいい学生になってほしいからですか。中学生の時、学生が何かいいことをすると先生は両親と同じぐらい喜ぶと聞きました。それが正しければ、もちろん学生のためを考えて、先生方はこのような厳しい規則を決めたということです。そのように考えると、「今から、もうちょっとがんばろう。」と思うようになりました。

その後、先生方の親切がいろいろと感じられるようになりました。例えば、日本語能力試験の日、先生方はキャンディーとか色々なお菓子を持って、母親のように心配そうな顔をして外で待っていてくださいました。授業でわたしたちが分からない時先生方はゆっくり説明してくださいましたし、専門科目の新しい言葉をインターネットで調べてくださいました。また、学生の顔色が少しでも悪そうだと先生方は心配そうな声で「大丈夫ですか。何か病気ですか？」とおっしゃいました。本当にそれは心を込めておっしゃいました。このように色々と親切にしてくださいました。おかげで、今日本語がよく分かるようになりました。

最初ネガティブに考えたことは間違いだったということが今は分かっていますが、前は分かりませんでした。もしもっと前から分かっていたら、つまり物事をいい面から感じることであればもっと良い結果が得られると思います。

皆さん、日本で勉強や研究をする時、色々大変なこともあるかもしれません。その時、悪い点から考えないでいい面から考えてください。私はAYFに入ったおかげでこのように感じるができます。私にとって、AYFPの意味はアジア・ユース・フェローシップ・プログラムではなく Always You Feel Positively (AYFP) プログラムです。

カンボジアの先生の生活



先生というのはとても大切な仕事です。
先生は子供たちの将来に光を与える仕事しているのです

皆さん、こんにちは。世界中どこでも教育はとても必要です。皆さんが今までいい教育を受けられたのはだれのおかげですか。答えはもちろん先生のおかげです。大学院と大学の教授だけでなく小学校の先生のおかげでしょう。先生の中で一番大切なのはどの先生だと思いますか。私の考えでは小学校の先生が一番大切です。小学校は学校教育が始まるところで子供達は小学校の先生から影響をたくさん受けるからです。皆さんは今、皆さんの小学校の先生をまだ覚えていますか。皆さんの小学校の先生の生活はどうでしょうか。カンボジアの小学校の先生の今の生活の状態はとても大変です。私は今日、皆さんにカンボジアの先生の生活、特に小学校の先生の生活について話したいと思います。

カンボジアの小学校の先生の給料はマレーシアのお金で言うと毎月80リンギしかもらえません。先生たちはその80リンギで、どうやって生活しているか、皆さんは想像できますか。生活できることはできますが、とてもたいへんです。だから、先生たちは教えながら、他の仕事をしなければなりません。例えば、男の先生は学校が終わったら、すぐ自分のオートバイで、バイクタクシーの仕事をします。バイクタクシーというのはタクシーのようなものですが、車のかわりにオートバイでお客さんを運びます。遅くまで働いて、うちへかえります。そして、うちでいろいろな学校の仕事をします。例えば、学生の宿題を直したり、次の日の準備をしたりします。女の先生は学校でお

菓子とか文房具とかを売ります。学生たちは自分の先生のものだけ買わなければなりません。また、ある先生は毎日普通の授業が始まる前に、特別な授業をします。参加する学生たちはその特別なクラスのためにお金を払わなければなりません。もしその授業に出ないと、テストでいい点はとれません。

ある人々はこのことで、小学校の先生たちのモラル下がっているといって批判しています。しかし、私はこのようにアルバイトのことだけで先生の悪口を言うのは良くないと思います。なぜなら給料がとても安くても、カンボジアの先生たちは子供の将来のために一生懸命教えているからです。子供がいい人になって、知識が豊かになるのは先生のおかげです。もし先生たちが生活ができないという理由で仕事をやめたら、子供はどうなると思いますか。カンボジアの教育はどうなるでしょうか。大変困ったことになるでしょう。皆さん、カンボジアの先生たちは生活がたいへんでも、仕事を辞めませんでした。だから、人々は小学校の先生を大切に、尊敬した方がいいと思います。

最後に、私は皆さんに言いたいことが二つあります。一つ目はもし皆さんの国の先生の生活がカンボジアの先生の生活のようだったら、いっしょに先生たちの気持ちを励ましてください。それから将来皆さんの子供たちを一生懸命勉強させてください。それはもちろん子供の将来のためですが、先生たちも子供が一生懸命に勉強すれば、うれしいし、やる気が出てきます。二つ目はもし皆さんが将来先生になって、そして、その生活が苦しくても、どうか仕事を辞めないでください。先生というのはとても大切な仕事です。先生は子供たちの将来に光を与える仕事しているのです。

ある未亡人の人生



悲しい人生を送る人が増えないように皆で協力して、
絶対に戦争が起こらないように努力しましょう。

人はどんな時に幸せだと感じるでしょう。お金持ちになった時ですか。高い知識を得た時ですか。病気をしないで、元気に暮らしている時ですか。私は家族と一緒に住むことができれば幸せだと感じます。私は戦争でご主人を亡くしたカンボジアの未亡人の人生について話します。

カンボジアのモンコルボレイという小さい町にお金持ちの家族が住んでいました。ワンさんはその家族の末娘で、とてもきれいな人でした。22歳の時、ワンさんは小学校の先生と結婚しました。その時代、先生の給料はとても高くて、ワンさんはご主人と幸せに暮らしていました。2年後、かわいい女の子が生まれました。

しかし、75年、カンボジアはポルポト時代になって、変わってしまい。町の人々は田舎に退去させられて、自分の家族とも会いにくくなりました。ワンさんもご主人と会うのは一、二か月に一度だけになりました。知識人は殺されて、学校や病院なども閉鎖されました。3年8か月20日間に3百万人以上がポルポトに殺されたり、病気や飢えで亡くなったりしました。そして、100万人以上の女性が未亡人になりました。皆さん、そんなに大変な生活でしたが、ワンさんにとって一、二か月に一度ご主人に会うのは小さな楽しみでした。76年にはトトという息子さんが生まれました。

78年にワンさんの町では大勢先生が殺されました。ご主人も先生だったから、とても心配で、家族と相談して、町から逃げることにしました。

一年後の79年1月7日にポルポト時代が終わりました。学校教育や病院での診療や外国との交流などがまた始まりました。

毎日ワンさんは子供といっしょにご主人からの連絡を待っていましたが、連絡は来ませんでした。ワンさんはご主人が恋しい時、子供にご主人のことを話してあげました。ワンさんは高い教育を受けなかったし、ビジネスのこともあまり知らなかったから、生活は大変でした。時々ワンさんは子供の世話をど

うすればいいか分からず、パックした服に顔をうずめて座っていました。息子さんはそんなワンさんを見て、何も分からず、近くに座って泣いてしまいました。ワンさんも息子さんを抱いて泣いてしまいました。

ワンさんは85年、生活のために小学校の先生になりました。給料がとても低かったから、お兄さんの家族と住んでいました。お兄さんの家族は皆優しくかったのですが、ずっといっしょに住むのは申し訳ないと思い、2年後ワンさんは子供と3人だけで暮らすことにしました。娘さんは13歳で、ワンさんを助けるために果物を売り歩いていました。息子さんも壊れたものを探して売っていました。とても大変な生活でした。

そんな時また問題がまだ終わらないうちに、外の問題が起きました。ワンさんの娘さんがお寺で爆発事故(explosion)に遭って、大けがをしてしまいました。

93年、けがが治った娘さんは看護婦になりました。生活はどんどん良くなっていましたが、ワンさんの息子さんは家族のことをあまり考えないで、毎日ビリヤードをして遊んでいました。しかし、勉強はできたので、94年、三つの大学に合格しました。いなかの学生が大学に入るのは大変難しいことだったから、ワンさんはとてもうれしそうです。その上、大学三年生の時、息子さんは大学から奨学金をもらって、フランスで二ヶ月勉強しました。ワンさんは息子さんをととても誇りにしていました。ワンさんの町ではだれもがワンさんのお宅を訪問するようになりました。

ワンさんの家はとても小さくて古い家で、雨が降るとあちこちで水がもれました。うるさくて夜、寝られないほどだったから、新しい家を建てるために、ワンさんは自分の健康を考えないで、いつもまずくてとても安い料理を食べて、一生懸命お金をためました。

1998年、ワンさんは一人で新しい家を建てることにしました。家を建てるため忙しく働いている時、とりの家の人と土地の境界のことでけんかしてしまい落ち込んでしまって、時々晩御飯を食べないで寝るようになりました。そして、98年7月5日の夜、8割ぐらいでき上がった家で、49歳のワンさんは眠りにつき、二度と目を覚ましませんでした。大好きな子供の顔と明るい将来を見ないで亡くなってしまいました。二人の子供は何も言えず、涙だけが後から後から流れました。今でも、いつもお母さんのことを思い出すと、涙が出てしまいます。

実はワンさんは私の母で、トトは私です。私は一度でいいから母に私がAYFで勉強する姿を見てほしかったです。しかし、戦争のせいでそれもないませんでした。母のつらく悲しい生活が始まったのは未亡人になった時でした。戦争のせいで父を失って、働かなければなりませんでした。高い教育を受けなかったの、いい仕事につけなかったのです。皆さん母のように悲しい人生を送る人が増えないように、皆で協力して、絶対に戦争が起こらないように努力しましょう。

変化



成功するために、変化することを心配しないでください。変化は必要なことです。どんなに大きい変化が起こっても積極的に考えたらきっと適応できると思います。

皆様、この世の中で確かなことは何でしょうか。人生にはどんなことが起こるでしょうか。さまざまな答えがもちろんありますが、私の一番の答えは変化です。

変化には自分自身が変わることもあるし、環境が変わることもあります。環境が変わった時それに適応するのは難しく大変です。

どうして難しいのでしょうか。また、環境が急に変わった時どうして初めは変な気持ちやいやな気持ちになるのでしょうか。まず、みな様このように手を組み合わせてください。（2 x）右手と左手とどちらの親指が上になっていますか。最初の時と、組み方は同じですか。（もう一度）。そして、今度は反対に組み合わせてください。どんな気持ちがしますか。私たちは、毎日やることは習慣になっています。そして、何か新しいことをする時今までと同じやり方でやろうとします。今までのやり方と新しいやり方の間にギャップがあります。このギャップのせいでたいい変な気持ちやいやな気持ちになります。

私は人生で何回か大きい変化を経験しました。1997年四月にアイルランガ大学を卒業してから、すぐ同じ町にある会社で働き始めました。私の生活は変化してしまいました。大学生の時、自由な時間がたくさんありましたが、会社に入ってから日は曜日がいいは、毎晩11ー12時まで仕

事をしました。精神的にも肉体的にも大変疲れました。しかし、私は考えました、友達には仕事がない人がおおぜいいる。それに、比べたら自分は幸せなのだから、どんな困難があっても将来のためにがんばろう。困っている時でも積極的に考えたほうがいいと思います。そのうちに私はある女性との結婚を考えるようになりました。それで、結婚するためにもっといい仕事を探しました。そして、銀行の仕事が見つかりました。この仕事は給料がいいし、私の法律の知識を使うこともできるし、働く時間も午後5時までだからもっといいと思いました。それで、勤めていた会社をやめました。しかし、皆様も知っているようにこのとき突然ひどい経済危機がインドネシアをおそいました。私は国のお金の価値がどんどん下がりました。ついに、米ドルにたいして1/5になってしまいました。もっとひどいことに私が働くつもりだった銀行が倒産してしまいました。それは私が働き始める3日前のことでした。ショックでした。私は失業者になってしまいました。

ある日、新しい仕事がバリ島で見つかりました。バリ島は物価が高いし文化もぜんぜんちがいます。とても心配な気持ちになりました。しかし、バリで生活しているうちに少しずつ、慣れてきました。この時、私の考え方も変わって仕事はお金ばかりでなく、将来のために知識をたくわえることはもっと必要だと思うようになりました。その後、財務省で仕事が見つかりました。財務省の仕事にも問題がありました。給料がとても少ないし、物価の高いジャカルタで仕事をしなければならぬから再び心配な気持ちになりました。ジャカルタでは、妻と娘と、家族3人の生活は本当に大変でした。しかし、私は、給料は安いけれど国の発展のためにも役に立つ大切な仕事だし、仕事をしながら勉強するチャンスもあるかもしれないと思いました。実は、仕事をしながら勉強するのは本当は不可能なことだと感じていましたが、3年後、その不可のうなことが実現しました。今、私はAYFに合格し4月から文部科学省の奨学生になります。

皆様、世の中は常に変化しています。自分の環境が変わる時、たいていの人は心配になります。私が言いたいことは、環境の変化に適応するためには積極的な考え方をしたいです。難しいですが不可能なことではありません。それから、急に環境に適応することはとても大変だから、少しずつ慣れた方がいいです。その他に必要なことは努力です。このような点に注意れば、変化の時大丈夫だと思います。

皆様、私たちはもうすぐ日本へ行きます。もちろん変わることがたくさんあると思います。成功するために、変化することを心配しないでください。変化は必要なことです。21世紀の世界がどのように変化するか、私たちにはまだわかりません。しかし、どんなに大きい変化が起こっても積極的に考えたらきっと適応できると思います。

AYF の奨学金



日本での研究計画をしっかりたてて、
目的を達成させましょう。

皆さん、今日は。 AYF の奨学金は AYF の学生にとって、どんな意味があるのでしょうか。今日は私が AYF の奨学金をもらえるまでのことについて少し話したいと思います。

大学生の頃から私はどうしても、大学を卒業した後で博士まで進学したいと思っていました。4年前ベッドのそばの壁にはこのような計画が書いてある紙を張っていました。私は大学院に進学して、高い知識を身に付け、触媒化学の専門家になりたいという目標があったのです。

しかし、大学の時両親が私の学費を払うのが大変そうだったのを見て、大学院の学費まで払ってもらうのはもう無理だと思いました。大学の頃両親からの生活費はとても少なかったもので、その時はアルバイトをしないと生活が成り立ちませんでした。

大学院に進学したいのなら、奨学金をもらうほかありませんでした。ある学生はお金に問題がないので、奨学金がなくても進学できます。しかし、私のような貧しい学生には無理です。大学と修士課程なら、アルバイトをしながらでも勉強ができると思いますが、博士課程だったらできないで

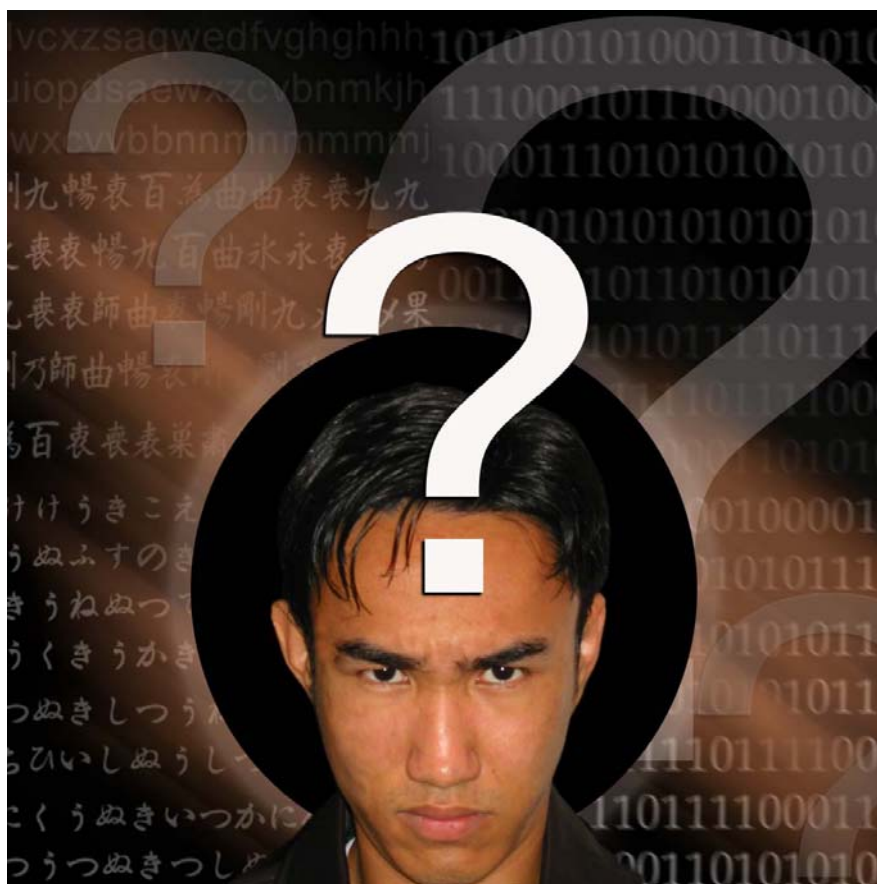
しょう。研究にも集中できなくなるし、外国で行うセミナーに参加することも難しくなると思います。ですから、私にとって大学院に進学するための奨学金を見付けることは重要でした。

ところが、奨学金がもらえるようになるまでなかなか大変でした。私は大学を卒業する前に仕事を見つけ、働いていたのですが、仕事を辞めなければ、奨学金を申し込めないこともあり、その時は仕事を辞めて、貧乏な生活したこともありました。しかし、それでも何度も落ちてしまい、結局今までに全部で6回も申し込みました。6回目がこのAYFです。

AYFに合格した時は言葉では言い表せないほど本当にうれしかったです。やっと自分の大学生からの計画が実行できるのだと感じました。自分の夢に一步近づいたのだと感じました。さらに、AYFプログラムは日本の修士課程にも博士課程にも進めるプログラムなので、私の夢にもっと近づくことができます。それだけでなく、AYFでの一年間を通して、日本語を勉強し、ヤンさんのように日本語がぺらぺらになるチャンスもあります。他のプログラムに落ちたことも運が良かったと感じるほど大変いいプログラムだと思います。今まであきらめないで、本当に良かったです。

私はこのプログラムを通して、絶対に触媒化学の専門知識を深くしたいと思います。それに、私達のように日本で勉強したい人も、私のようにAYFのプログラムか、あるいは他の奨学金に申し込み、落ちた人もおおぜいいるはずだから、このチャンスをむだにしてはいけないと感じています。皆さん、奨学金をもらい、日本に留学できるというのは本当にすばらしいチャンスです。皆さんも、この奨学金を簡単にもらったわけではありませんね。このチャンスをむだにしないでください。日本に留学できることのすばらしさと選ばれた人間としての責任を忘れないでください。日本での研究計画をしっかりたてて、目的を達成させましょう。

質問



将来どんな問題に直面するかまだ分からないので、
今から準備して、いろいろな知識を集めて、たくさん質問しましょう。

皆様、何か分からない時、顔にはたくさんの疑問が表れているのに、そのまま何もしないで、質問を心の中に留めておくのはいいことでしょうか。もし私達が心のドアを開けて、分からないことを勇ましく質問して、人生の宝物、つまり新しい知識を得ることができたら、将来のために大変役に立つと私は考えます。今から若いうちに、何でも質問したほうが良いということについて私はお話ししたいと思います。

皆さん、子供の時どんなことを知りたかったですか。今でもそれらの答を捜すことはありませんか。例えば、鶏と卵とどちらが先に生まれましたか。それから人は死んだ後で地獄と天国とどちらへ行くのでしょうか。幽霊にはなりませんかなどです。それは子供なら自然に知りたいことですが、もし子供が身の回りのことによく注意して、たくさん質問したら、将来、田中さんのようにノーベル賞を取ることができるかもしれません。しかし、現在ラオスでは多くの子供達は意味が分からなくても、テストでいい点をとるために、大きい声でお坊さんがお経を覚えるように繰り返し唱えて、

全部暗記しなければなりません。やはり私も小学生の時、そんな風に勉強していたことを思い出しました。質問するのは恥ずかしいことで、黙って座ったまま終わりの時間を待つのが一番良い方法でした。ほとんどの私の友達も同じような気持ちでしたが、いつも質問する生徒もいました。彼の質問はつまらなかったのも、あくびをこらえるのに苦労しました。友達の間では彼は迷惑な人で、時々彼のせいで勉強時間が長くなって、皆おなかがすいてしまいました。「えっ！どうして質問がたくさんあるの。もっと簡単に考えて、難しく考えないでください。」と後ろから友達は声をかけました。彼は「分からないところを放っておく理由は何ですか。自分の知りたいことを聞くのが間違っていますか。」と返事したので、皆しばらく静かになりました。

何か月かたつと、彼の成績はすばらしく良くなって、皆にほめられました。特に、女の学生が彼を取り囲んだり、世話をしあげたりして、彼は人気者になりました。彼の質問はもし耳を傾けて、よく考えれば、とても核心を突いていて、新しい知識も含まれていました。私は彼がいい例かなと思って、自分の態度や勉強のし方を変えました。もちろん初めは誰でも恥ずかしいです。しかし、自分の知りたいことを自分の口で勇ましく質問してみたら、気持ちが楽になり、だんだん質問するのが普通という状態になります。それでは質問するのはいつがいいのでしょうか。それは自分でよく考えても、あるいは何度復習しても、分からないところがまだ残っている時です。そのような時に先生や友達に聞いて、もう一度教えてもらいます。

皆さん、時間は誰も待ってくれませんから、質問ができるうちに必ずしてみてください。知りたいことを質問した人は頭が悪いわけではありません。むしろ、頭が良い人だと言われています。私達は将来どんな問題に直面するかまだ分からないので、今から準備して、いろいろな知識を集めておいたほうが良いと思います。日本で勉強や研究をする時も、恥ずかしがらないで、手を上げて、大きな声で質問しましょう。

欲張り



自分が 今持っているものに 満足することです。

今日は、皆さん、世の中には 欲張りな人がいます。 欲張りというのは とても強い欲望です。自分は 十分に持っているのに、必要以上に 財産、お金、権力を欲しがって、他の人の物まで欲しいと思います。 皆さん、欲張りについて、私の話を聞いてください。

私は子供の時、欲張りで 失敗したことがあります。 ある日 学校が終わってから、 早く家へ帰りました。 その日、母は夜ごはんのヌードルスープを作って、皆の皿に ヌードルスープを分けました。 ヌードルスープは ちょうどなくなりました。 私はその時、お腹がとてもすいていたので 何も考えられませんでした。 自分の皿を見ただけで、まだ 食べていないのに 自分のヌードルスープの量のことで 母に ぶつぶつ文句を言いました。「どうして、お母さんは私に 少ししか くれないの。 十分ではないよ。それに、見てみて 姉と妹は 私より ヌードルスープの量が もっとたくさんあるよ。」と言いました。 しかし、実は、みんな同じ量でした。母は何も言わず、悲しそうな顔をしました。 私は 姉と妹の皿から ヌードルスープを取って、自分の皿に 入れました。 そして、自分の部屋で 一人で テレビを見ながら 食べました。家族は みんな 私が嫌になって、私に何も話ませんでした。 私は みんなを無視して、ヌードルスープを食べているうちに、お腹がとても一杯になりました。 結局皿の半分しか 食べられませんでした。 私は自分が罪を犯しているように 感じました。 それで、私は皆に謝りまし

た。母は跋として私に 姉と妹の服を洗わせて、部屋の掃除をさせました。皆さん、私は この経験から 欲張りはとてもよくないことだと知りました。

次の欲張りの話は 父に 関係があることです。父のお父さん つまり、私の祖父は 死ぬ前に 財産を 子供たち、つまり私のおじやおばに 用意してあげましたが、遺言書は 作りませんでした。そのせいで、おじと父の間に 大きい問題が起こりました。おじは 自分の家のほかに 大きいレストランとアパートを所有しているのに、父の財産の土地を欲しがりました。更に、私たちが住んでいるうちまでも 欲しいと言い始めました。おじは いい弁護士を雇って、裁判所へ行きました。皆さん、どうしたら よろしいでしょうか。父と母は 欲張りのおじさんと何度も 裁判所へ行ったり 一生懸命 話し合ったり しましたが、今もまだ、このケースは 解決していません。

皆さん、どう思いますか。欲張りな人は 利己的で 嫉妬深くて、不正直で、侵略的になって、他の人にも 悪い影響を与えます。例えば、今 父のことを話しました。おじは 私の父、つまり、自分のお兄さんまで 心を深く傷つけて、兄弟の関係を壊してしまいました。私と母と姉妹も 影響を受けました。もし 裁判で おじが 父に勝ったら、私たちは どこに住むかまだ 分かりません。どうしたら いいでしょうか。日本人と結婚しても いいでしょうか。私が いま 考えているのは、もし おおぜいの政治家が 欲張りなおじさんのようだったら、たくさん賄賂をとるでしょう。そのせいで、国も国民も 貧乏になるでしょう。

私は 欲張りな人間に なりたくないので、欲張りを防ぐために いつも 一つのルールを自分で 決めて、自分に教えています。それは 自分が 今持っているものに 満足することです。つまり、物質主義をストップすることです。

私が スピーチを終わる前に もう一度 言いたいことは、欲張りは 良くないので、皆さんは 決して、欲張りに 心をコントロールされないでください。

これで 終わります。ありがとうございました。

違う民族と結婚すること



もし愛情があったら、何でもできる

皆さん、あなたの国で違う民族と結婚する事がありますか。あなたはその事に対して、どんな意見を持っていますか。違う民族と結婚する事は社会にどんな影響を与えると思いますか。

私のある友達は中華系の女性ですが彼女の恋人はマレー系です。初めは色々問題がありました。一番の大きい問題は彼女の御両親の強い反対でした。もし彼女が違う民族と結婚したら、たぶん御両親と彼女の関係は壊れるに違いありません。家族の反応が怖かったから、二年経っても、家族に知らせる事ができませんでした。しかし、彼女の恋人の家族は二人の事が賛成でした。どうして二つの家族の意見は違うのでしょうか。それから、時間が経つとともに、彼女の御両親は百パーセント賛成とはいわないまでも、反対の気持ちは少しずつなくなりました。しかし、彼女はその人と結婚できるかどうかまだ分かりません。皆さん、もしあなたの兄弟またはお子さんが違う民族と結婚したら、あなたはどんな気持ちになりますか。マレーシアの一般の年輩の人は違う民族と結婚する事に強く反対します。どうして彼らはその結婚に賛成できないのでしょうか。民族が違うと、宗教も違うわけです。マレーシアではほとんどのマレー系はイスラム教徒でほとんどの中華系は仏教徒あるいは道教徒です。もし中華系またはインド系がマレー系と結婚したら、中華系またはインド系はイスラム教に改宗しなければなりません。その上、名前も変更しなければいけません。宗教だけでなく、民族が違うと、文化や生活習慣などもほとんどが違います。ですから、違う民族と結婚したら、生活に適應する事は大変です。皆さん、もしあなたは違う民族と結婚したら、宗教、文化、生活習慣を変更できますか。新しい生活に適應できますか。このように考えて反対するのです。

しかし、違う民族との結婚は全部が失敗するわけではありません。私の家の隣の家族は違う民族と結婚しました。御主人は中華系で奥さんはインド系です。それで、彼らのお子さんはマラッカのニョニャと結婚しました。その家族はとても幸せです。一年中色々なお祝いを行います。中国新年、クリスマス、ディパバリなどのお祝いの時はその家族はとてもにぎやかで嬉しそうです。また、子供達は中国語、英語、マレー語とインドの言葉がとても上手に話せます。更に、違う民族と結婚し

たら、各民族の関係を改善する事ができるし、文化と習慣ももっと理解できます。ですから、平和で結束した社会が作れると思います。

私は、もし愛情があつたら、違う民族と結婚する事は問題ないと思います。最近、ほとんどのお若者はそう思っています。愛情は民族、宗教、国などの壁がありません。マレーシアは多民族国家です。外の民族と結婚できなかつたら、とても残念と思います。ですから、私達は心を開いて、違う民族と結婚する事を認めた方がいいと思います。皆さん、民族が違うからといって、結婚をあきらめないで下さい。

挑戦



まっすぐに生きていきましょっい。

皆さん、今日は。この間の冬休みに私は一人でシンガポールへ行きました。シンガーポールまで六時間もかかったのですが、私はバスが行ってしまうことを恐れて、昼ご飯の時間にバスが止まった時も、とトイレの時間に止まっていた時も、バスを降りなかったのです。そんなに心配だったのはなぜでしょうか。実は私が一人で外国へ行ったのは、その時が初めてだったからです。

皆さんも初めて何かをする時、怖いと思いますか。「若いうちにいい経験をたくさんせよ。」という言葉をよく聞きますが、なかなか難しいものです。初めて何かをする時、誰でも不安があるはずです。前もって準備しても順調にいくとは言い切れません。将来どうなるか「人間万事塞翁が馬」です。結果が分からないという理由で、第一步を踏み出せない人も少なくないと思います。

新しいことに挑戦する時、自分の志や希望を忘れないことが大切です。人生には、時々難しい問題を避けることができず、面倒だ、いやだと思いながらも、やってしまうほかし方がない時もあり

ます。しかし、どんな境遇でも最大限に利用できれば、いい経験に変えられるでしょう。人間は経験から色々なことを学び、自分の性格を形成し、人生の教訓を得ます。

私はAYFに入る前にも、色々な疑問や心配がありました。日本語の勉強は難しいですか。先生や友達は親切ですか。私のルームメートはどんな人ですか。AYFの生活に慣れることができますか。そして、私は途中であきらめずに頑張ることができますか。

私は今その答えを知っています。日本語の勉強はやっぱり大変でしたが、皆と一緒に乗り越えてきました。苦しい勉強の中で、旅行に行ったり、ビリヤードをしたりして、先生や友達に家族のような親しみを感じるようになりました。そして、今ここでスピーチをしていることは私が途中であきらめず最後まで頑張れた証拠です。AYFでの一年間がもうすぐ終わります。時間というものは速く過ぎていくものですね。

AYFでの生活が終わって、これからまた次の挑戦が始まります。それは日本へ留学することです。私はまだ留学したことがないどころか、飛行機に乗ったこともありません。やっぱり心配なことはありますが、希望と自信を持って、楽しみたいです。もし苦しいことがあっても頑張って、精一杯努力すれば、人生をいつか振り返った時、何の後悔もなく、懐かしく感じられるはずです。

皆さん、ぜひたくさん経験をしてください。ちょっと障害があっても、あきらめず、胸を張って、まっすぐに生きていきましょーい。

怒る時



怒りは周りの人々にとっても、怒っている人自身にとっても有害です。
激しく怒っている時は何をすべきか冷静に判断できなくなるからです。

ある人が「私は今まで一度も怒ったことがない」と私に言いました。皆さん、どう思いますか。私は「うそだ」と思います。人間である以上、どうしても怒ることは避けられません。私達は怒らないようにしようと気を付けていても、不愉快なことを見たり、聞いたり、知ったりするとつい怒ってしまいます。

しかし、怒りというものは抑える必要があります。そうしないと大変な結果になることがあるからです。私もそれを分かっているが、激しく怒った時、自分の怒りを抑えられなくなって、やってはいけないことをやってしまいました。それについて皆さんにお話ししたいと思います。

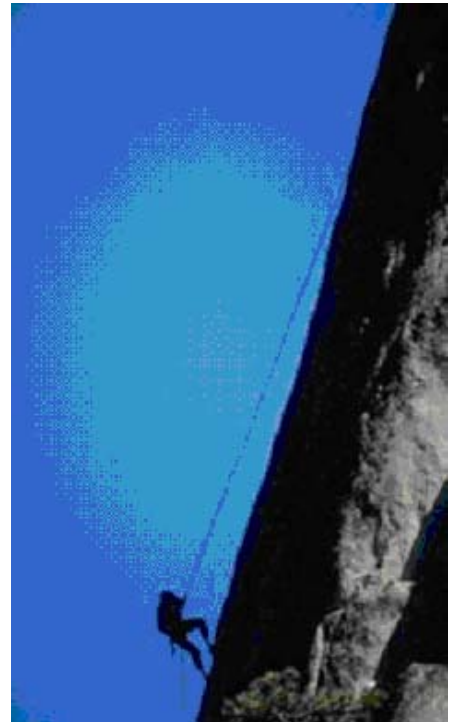
5年前のある夜、私は空港から車を運転して、父と一緒に家へ帰りました。いろいろ話しているうちに、あることで父と言い争いになりました。その時父親に対する私の話し方と態度があまりにも反抗的だったので、父は怒って、激しく私をしかったです。それを聞いて、私は非常に腹が立って自分の怒りを抑えきれなくなりました。そして、アクセルを強くふんで車のスピードを上げました。怒りのせいで自分がやっていることの危険性が感じられませんでした。何も考えられない、見

えないという状態でハイスピードで運転している時、父の大きい叫び声が耳に入りました。ふと気がつくと、私が運転している車は道の真ん中をこえて、道路の反対側を走っていました。向こうから早いスピードで他の車が私達の方へ近づいてきました。私はその車とぶつかると思いました。しかし、私は自分でもどうやったか覚えていないのですが、車の方向を変えて、ぶつかるのを避けることができました。車は完全にコントロールを失って、道路を飛び出して、道路からずっと離れた所で止まりました。幸いなことに父にけがはありませんでした。しかし、その時に受けた精神的なショックは長い間、消えませんでした。たった一分間私が怒りをコントロールできなかったばかりに父親も私も死にそうになったのです。

世の中には怒りをコントロールできなくなったせいで、大失敗をしたり、命を失ったりした例が数えきれないくらいあると思います。怒りは周りの人々にとっても、怒っている人自身にとっても有害です。激しく怒っている時は何をすべきか冷静に判断できなくなるからです。自分をコントロールできないせいで、恋人を殺した人や自分の息子を殺させる王様や両親と家族を全部殺す王子までこの世にいました。それだけでなく、大昔から今まで世界で何度も起こった争いと戦争の原因の一つは怒りではないでしょうか。このように、人間のいろいろな感情の中で、怒りほど注意しなければならないものはありません。私達はどんなに怒っている時でも、落ち着いて自分をコントロールしなければなりません。

皆さん、激しく怒っている自分をコントロールするのは難しいかもしれませんね。全然怒らないようにするのは無理です。しかし、私は怒りは努力と工夫をすればコントロールできるものだと思います。ですから、手遅れになる前に自分の怒りをコントロールして下さい。更に自分だけでなく他の人々も怒らせないようにして、よい人間関係を築いて、日本で前よりもっと楽しい生活をしましょう。

若者よ、希望を抱け



がんばりましょう。

皆さん、今日は、皆さんはどうして日本で勉強したいのですか。将来の希望は何ですか。われわれは何をする時でも、最初から何に成功して何を成し遂げたいかという希望を持つべきだと皆さんは思いますか。私はそう思います。社会で成功しているほとんどの人は若い時から将来何になりたいか考えていたと思います。私は希望さえあればもっと努力できるということについて話したいです。

まず、皆さんに私が後悔した経験について話します。私は大学生の時、あまり勉強しませんでした。その時、私は勉強が嫌いだったので、卒業したら勉強を続けなかつたつもりでした。博士課程で勉強したいと希望するなんて夢にも思わないことでした。大学の最後の試験が終わった時、私は「この世ではもう勉強しません。」とうれしそうに友達や先生方に言いました。もちろん、大学での成績は良くありませんでした。しかし、大学を出て始めた仕事と大学で五年間勉強したことは全然関係がないと感じた時、私の気持ちは変わりました。どうして私は五年間も時間やお金をむだにしたのかと自分に質問して、後悔して、仕事がいやになりました。そこで、どうしても勉強を続けて、自分の専門に関係がある仕事をしたいと希望するようになりました。それで、アジア工科大学で修士号を取るため、アルバイトをしながら勉強しました。それは私にとって大変厳しい時でした。そのような厳しい生活は初めての経験だったし、勉強の内容も前と同じではなかったもので、初めは成績はあまりよくありませんでした。しかし、その時、先輩たちが博士課程で熱心に研究をしている姿を

見て私も将来博士課程に進みたいと希望するようになりました。それからは、勉強したくない時、「キン・タン・ミン、今勉強しないと博士課程に進めませんよ。あなたはもう一度後悔をしたいのですか。」と自分をしかって、一生懸命勉強するようになりました。そうしたら、成績がどんどん上がりました。もし、私が修士課程を終了するだけで十分と考えていたら、その時、勉強しないで寝ていたかもしれません。希望さえあれば自然に努力ができるということをわたしは知りました。

皆さんが知っている野口清作即ち英世のことを思い出してください。英世は子供の時、学校をやめようと考えましたが、お母さんが彼に立派な人になって欲しいと希望したので、勉強を続けました。その上、左手の手術を受けた後で、自分も偉い医者になりたいという希望を持つようになりました。そして、どんな困難にあっても、医者になりたいという希望を失わずに努力を続け、最後は立派な医者になりました。

このような経験は皆さんもしたことがあると思います。希望さえあれば自然に努力ができますから、どんなことをしても成功できます。ですから、わたしたちも日本の大学院で研究する時、人々の役に立つ立派な研究をしたいという強い希望を持ってがんばりましょう。

キン タン ミン

AYF の言葉



何よりも、AYF の言葉は友情です。私たちは友情でどんな距離でもを渡りどんな壁でもを倒れたりどんな問題でもを解決したりすることができます。

私の国、フィリピンには人々の間に壁があります。どうして一つの国の国民なのに壁があるのでしょうか。それは16世紀以降戦争や宗教や思想や社会的な地位などによって人々が分けられていたからです。また、東南アジアの中でフィリピンの島の数は二番目に多いです。フィリピンは島が7,107あります。その結果、地域によって、色々な文化が発達しました。文化が発達するとともに、方言も多くなりました。そのために、同じ国の人同士がコミュニケーションできないこともあります。このような理由で、今も人々の間の壁が高いです。どうやって人々の間の壁をなくしたらいいのでしょうか。皆さん、私の考えではどんな壁でもを心を開いてなくなります。

AYF には初めは人々の間の壁がありました。AYF の学生たちはいろいろな国からきました。国によって、言葉や文化や考え方などは違います。したがって、学生たちの隔たりは遠かった。人々の間の壁は良く感じられました。それは大きい問題だった。ある事件には学生たちは意見やアイデアなどが違って、お互いに故意でなく感情を害したり混乱させたりしました。実は学生たちの意志は他の学生の感情を害する意志ではなくて、話したり意見やアイデアなどを分担したりしたいという意志が持っていました。以降、少しずつ学生たちはそういう気持が分かって、友達ができたり自分が他の人の友達になったりするためにいろいろな方法でコミュニケーションできました。

私はAYFで友達という言葉の意味を深く学びました。AYFに入る前に私が思ったのは皆さんは社会に自分に対する適した友達がいます。自分を整えなくても、その友達に会って、仲がすぐ良くなります。私は自分の考え方や行動などを変化しなくても、大丈夫だと思いました。しかし、AYFの場合には特別な場合です。AYFは自分が見たり経験したりした世界に反して、遠くの異なっている世界を象徴します。AYFは他の学生が住んでいた世界も象徴します。それらの世界を分かるために変化が避けられません。

AYFの七規制のチェアマンとして私は自分の意見だけを考えないで同級生の意見も考えることを学びました。私は私の同級生にとって「パパ」というものです。「パパ」という言葉はタガログ語では「お父さん」という意味があります。初めは、「パパ」という言葉がちよっと嫌いです。私は『私はお年よりではない。まだ若いですよ』と考えました。ある事件は、クラスで私の同級生は私に「パパはどうしてAYFに入れましたか。もうお年寄りですね。」という冗談を言いました。その時、私は怒りました。私は「だれもそのことを私にできません。とても失礼だ。シュバッシュさんはもっと老人ですよ。」と考えました。授業の後、だれでもに話しませんでした。しかし、その事件を通して、いろいろなことを実現しました。一つ目は、友達の間に行った冗談は冗談だけです。二つめは、「パパ」という言葉は愛情の表示です。お父さんは何よりも、家族の友だちです。だから、自分の感情だけを考慮しないで他の学生の気持ちを大切にすることを心に込めなければいけません。友情にとおして、皆さんの利益のために自分を犠牲にします。そのとおりに友達に自分のことや物などを分担します。

AYFの目的はアジアに友情の端をかけるという目的です。心の言葉つまり友情で人々の間の壁を倒れます。今私は思っているのは友情のために小さくても大きくても変化が必要です。学生たちは少しずつ心を開けたり目を覚ましたりするにとって、他の学生の短所に耐えて長所を感謝できます。心を開けるを通して他の人にもっと自分を分担できます。私たちはいろいろな国からといって、友達になる可能性が高いです。それは友情の驚異の一つです。

何よりも、AYFの言葉は友情です。友情をとおして人々の間の話したりお互いに手伝ったり自分を分担したりすることを簡単になります。私たちは友情でどんな距離でもを渡りどんな壁でもを倒れたりどんな問題でもを解決したりすることができます。これはAYFでの一番優れた人生の教訓だと思います。将来のためにこの教訓は役に立ちます。自分の国で国民の同士で協力と友情は必要です。東南アジアでも地方的な協力は友情でよくできます。世界平和のために心の言葉を使ったほうがいいです。一つの世界、一つの言葉。これは私の希望です。

人生はチョコレートボックス



人生なんてそんなものさ。

大学の時、こんなことがありました。大学に入る前に、父は私に野口英世のお母さんのようなことを言いました。「アマポーラ、大学に入ったら、家族と離れて、ひとり暮らしになってしまうけど、何があっても、自分で解決しなさい。それから恋人を作ったり、大学の女子学生の社交クラブには入らないで、しっかり勉強しなさい。長女なのだから、兄弟のためにも、立派な人になってほしいんだ。」といいました。大学に入ったばかりの時、私は両親の希望通りの生活をしていました。

しかし、半年後、私は両親の命令の一つに背いてしまいました。両親が反対している大学の女子学生の社交クラブに入ることにしたのです。そのクラブは型にはまったクラブではなく、政治団体でした。クラブのメンバーとして、学生デモに参加したり、雑誌やパンフレットに社会問題や政治問題について記事を書いたり、政治活動などもしていました。父はそのような団体は勉強の邪魔になるし、良くない影響も受けるので、危ないクラブだと思っていました。ですから、そのようなクラブに入ることは反対でした。

その時私の頭の中は自由、男女平等、人権、などの思想でいっぱいでした。両親の命令と希望を考えないで、自分の権利とか、考え方とか、思想を両親に主張しました。それに対して、父はとても怒って生活費も払ってくれなくなりました。私と両親との関係は悪くなって、うちへ帰っても、

父とは話しませんでした。食事の時も呼ばれないし、目も見ることもしませんでした。「わたしはお父さんの娘じゃないの。」と私は思いました。その時、世界で一番大切な人がいなくなったような気持ちでした。これは私が初めて味わった人生の苦い味です。

その時、私は岐路に立っていました。『ここからどこへ行こうかな。』と私は思いました。自分の信念に従う道を進むか両親の一番の希望通りの道を選ぶか、迷っていました。そのうちに私の考えがだんだん変わり、違う見方ができるようになりました。それは人生にはいつも自分が正しいと思ってやっても、周りの人に反対されることがあり、そういう時はそれらと妥協することも必要だということでした。それで、私の信念と両親の希望との間で妥協点を探しました。いつか両親が私の考えを認めてくれることを待ちながら、勉強と学生運動を続けました。私は勇気を持って、アルバイトしながら、一生懸命勉強しました。父は頑張る私を見て、私の考え方を認めてくれるようになりました。そして少しずつ両親との関係が良くなりました。これは私にとってほろ苦い経験でした。

フォレスト・ガンプという映画の主人公は、「人生」はチョコレートボックスのようなものだと言いました。「どんなチョコレートを取ったか、だれにも正確に分からない。人生はなんてそんなものさ。」私もそう思っています。私たちは生きている間に様々な人生のチョコレートを食べます。甘いのも、苦いのも、そしてほろ苦いものもあります。どんな人生のチョコレートを食べられるか、それは私たちの責任です。

皆さん、人生のチョコレートの味は私たちの意志によって決まると 생각합니다。苦い経験をして、強い意志があれば、後で甘い味に変わるでしょう。そして、それらの経験を通して人生の教訓を学ぶことができます。

最後に、今年の四月私達は日本へ留学します。日本へ行ったら、どんな人生のチョコレートを食べられるか、楽しみです。日本での生活を深く味わってください。そして、自分の好みのチョコレートを見つけてくださいね。

私の心のヒーロー



ゴミを回収する人の大変さが分かってください

皆さん、毎朝太陽が昇る前に、皆さんは何をしていますか。ほとんどの人はまだ寝ているでしょう。しかし、その時間にもう仕事を始めている人がいます。例えばゴミを回収する人です。皆さんはゴミを回収する仕事について知っていますか。その人がどうやって一日を過ごすか、その仕事はどのくらい大変か、また、その人の心の中にどんな思いがあるかご存知でしょうか。

皆さん、今から私の父の話を聞いてください。私の父はゴミを回収する仕事をしています。父の仕事は大変忙しいです。休める日はほとんどありません。新年の休日も働かなければなりません。家族と一緒に話したり、遊んだりする時間はあまりありません。子供の頃から私は父と喋る機会がなかなかありませんでした。毎朝、朝日がまだ昇らないうちに、父はもう働き始めます。私は子供の時、父の仕事についてほとんど知りませんでした。中学生の時、初めて母が偶然の機会に父の仕事について、詳しく教えてくれました。「リンちゃん、あなたのお父さんは毎日ゴミを回収しているのよ。その仕事はとても大変なの。お父さんは私達家族のためだけでなく、国の道をきれいにするためにも、毎日一生懸命に働いているのよ。だから、あなたにもお父さんの大変さが分かってほしい。そして、お父さんの仕事に誇りを持ちなさいよ。」と言われました。当時、10代の私は父の仕事はきっと他の人に見下されると思って、劣等感を持ちました。それ以来、誰かに父の仕事を

聞かれても、私は本当のことを言いたくなくて、前と同じように「私の父は普通の運転手だよ。」と答えました。私は、他の人に見下されないためには、嘘をつくほかないと考えていました。

しかし、大学3年生の時、非常に衝撃的な経験をして、考え方が変わりました。ある日母がテレビの放送局の人から電話をもらいました。その人はドキュメンタリー番組を作って、ゴミを回収する人の仕事の辛さと社会に偉大な貢献をしていることを伝えたいので、私の家族に協力して欲しいと言いました。両親はそれに同意して、番組が作られました。私の家族は皆その番組でインタビューに答えました。当時、私はまだ自分の父の仕事を秘密にしていたのですが、そのテレビ番組が放送されたせいで、皆に知られてしまいました。驚いたことに、翌日、番組を見た同級生や近所の人から家に電話が掛かってきました。皆に父の仕事のことで馬鹿にされると思ったら、逆にとても感動したと言われました。特にその番組の中で、私が自分の父親の仕事を絶対に見下さないと言ったことについて、多くの人々に勇気があると褒められました。

私自身もその番組を見て、驚きました。父の仕事の大変さが前よりもっとよく分かりました。ゴミの臭いがどんなにひどくても、父は一生懸命に、人々の捨てたゴミを集めたり、道を掃いたりしていました。不思議に、その番組が放送されてから、私の心の中の劣等感もなくなってしまいました。

今日の私のスピーチのタイトルは「私の心のヒーロー」です。皆さんはもう分かりましたね。そうです。私の心の本当のヒーローは私の父なのです。父は給料がもっと高いある仕事の機会を放棄して、シンガポール、所謂グリーン・シティーのため、一生懸命働いています。私の父は毎日仕事で忙しいにもかかわらず、父親の役割をちゃんと果たしています。父はいつも私を支えてくれます。

「リンちゃん、成功をするためには、まっすぐ自分の夢に向かって生きることですよ。毎日が新しい日です。だから、最後まで頑張ってやってみましょう。世の中には始める前から諦めてしまう人々が多すぎるね。何かに集中していれば、それが何であれ達成できるはずだよ。」という貴重なアドバイスを何度もしてくれました。私の父は普通の人ですが、永遠に私のヒーローです。

最後に一言、皆さんに心から言いたいことがあります。将来、私達が社会で立派な人になった時、自分より地位や学歴が低い人々を見下さないでください。彼らも（また）社会に対して重要な役割を果たしているからです。

手



私は仕事と家族は人の手のようだと感じます。
仕事は右手のようです。それに対して、家族は左手のようです。

皆様、こんにちは。今日私は人生で最も大切な事についてお話ししたいです。どうぞお聞きください。

皆様は仕事と家族とどちらが大切ですか。現在ではほとんどの人は仕事の方が大切だと思って、いつも仕事をし過ぎて、家族を忘れてしまいがちです。私にはこんな経験があります。

私は2000年の2月から二年間シティバンクで働いていました。私の夢は良い社員になることだったから、一生懸命仕事をしなければならなかったと思います。そう思っていたので、初めの一年間は朝から晩までずっと仕事をしていました。毎日12時ごろまで家へ帰りませんでしたし、休みの日も時々会社へ行きました。その時、家族や恋人に会う時間も、運動する時間も、寝る時間も、全部少なくなりました。そのため、体を壊してしまいました。

週末に何もしたくなくて、ゆっくり休みたかったので、家族や恋人と一緒に時間を過ごさなくなりました。ですから、恋人との関係は悪くなって、遂に別れてしまいました。その時、仕事の成績は良かったのですが、自分の生活には満足できなかったし、幸せでもありませんでした。そして、肉体的にだけでなく、精神的にも弱くなりました。そのような状態になって、初めて私は自分が一年間仕事をし過ぎていたことに気が付きました。

シティバンクでの一年目の生活が終わった時、私は考え方を変えました。生活のバランスを良くしようと思いました。家族が私と一緒にもっと長い時間過ごしたいと思っている事が良く分かったので、毎日仕事を終わる時間を決めました。しかし、もちろん自分の責任を果たしたかったから、緊

急の仕事がある時は遅くまでがんばって仕事をしました。そうすると、自分の生活の状態が良くなりました。仕事の成績も良かったし、家族との関係も良くなったし、新しい恋人もできました。

私は仕事と家族は人の手のようだと感じます。仕事は右手のようです。それに対して、家族は左手のようです。

仕事が右手のようだと感じるのには色々な理由があります。まず、私は右効きなので、毎日八時間以上右手を上手に使っているからです。また、いつも左手より大切に感じます。右手が無いことは私には想像できません。それから、右手を物にぶつけたり、痛めたりすると、社会の厳しい環境を思い出します。現在の世界は会社同士、人間同士が競争することは珍しくないで、どんな社会でも、競争がいっぱいあります。ですから、ストレスもたくさん受けます。

それに対して、家族と恋人は左手のようです。左手はあることはあるが、時々その存在に気づかないことがあります。しかし、実は左手は右手と一緒に色々な物を支えます。家族も恋人もいつもどんな問題があっても、手伝ったり、援助したりしてくれます。また、一緒にいると、とてもリラックスできます。

皆様は右手と左手とどちらが大切だと思いますか。実は両手が大切に違いありません。片手だけでは十分ではありませんが、両手を一緒に使うと、上手に物事を行う事ができます。仕事と家族の関係についても同じことが言えます。私は仕事も家族も両方大切だと思っています。

皆様、自分の生活をバランスの良い物にしてください。仕事だけをし過ぎないでください。成功するためには良い仕事をするだけでなく、自分の家族や恋人と満足できる関係を持つ必要もあります。もし、一方に問題があれば、成功したとは言えないと思います。

皆様、今まで仕事をし過ぎてきた人も、今日からは自分の家族や恋人のことを心からもう一度考えて、右手と左手を上手に使って、自分の生活をバランスの良い物にしましょう。

周りの意見



人々は誰でも自分の悪い所を直したいし、もっといい仕事をしたいと思っています。
だから、周りの人の意見は必要です。ほかの人の意見を聞きましょう。

今日は特別な日だから、皆さんきれいな服を着ていますね。女の人達はきれいで、男の人達もハンサムです。」これを聞いて、うれしいですか。「ねあ、ねあ、どうしてスピーチを聞かないの、良くないよ」。皆さんだったら、どんな気持ちになりますか。もし怒ったら、私の話を聞いてみてください。

ある大きい建設会社の課長が退職をしたので、この会社の二人のプロジェクト・エンジニアのどちらかが新しい課長になることができます。エンジニア A は頭が良くて、有名な大学を金メダルを取って卒業し、どんな仕事でも速く理解して上手にできるので、自信と自尊心が高かったです。ところが、エンジニア A はどんな話し合いでも、自分の意見が一番大切で、だれの注意も聞きませんでした。更に、いつも部下を大変しかったので、部下たちは自分のアイデアを言えませんでした。エンジニア A の部下は皆疲れた顔をしていました。仕事が大変なだけでなく気持ちも大変でした。部下たちは居心地が悪くて、すぐ仕事をやめてしまいました。エンジニア B がその話を聞いてエンジニア A に会って忠告しました。しかし、エンジニア A が怒って、「私のことだからあなたには関係ない」といったので、エンジニア B はその後二度と忠告しませんでした。

エンジニア B は大学の時、サッカー選手で、いろいろな活動をしたり、友達と遊んだり、お酒を飲んだりして、成績は平均点しか取れませんでした。しかし、仕事の初めからやめる部下が少な

かったです。間違った時もエンジニア B に本当のことが話せるので、問題が速く解決できました。エンジニア B はいつも部下の意見を聞いて尊重しています。だから、皆楽しく働いていました。

皆さん、皆さんが社長だったら、この二人のどちらを課長に選びますか。実は、これは四年前、友人が私にした質問です。その時、私は大学の先生になったばかりで、学生の成績がもっとよくなるために、軍隊のように厳し過ぎる先生になってしまいました。授業中、学生たちは静かになり、全然質問もないし、話さないし、どこでも私を見ると緊張した顔をしていました。「何か間違っているのか」私は本当に悲しくなっていました。そこで、ある日、私は友人に相談しました。友人は「考え方はいいけど、学生の成績がよくなっても、心が病気になるかもしれない。大学の勉強は先生と学生のコミュニケーションだから、学生が意見を言えるように工夫したほうがいいんじゃない。」と言いました。そして、エンジニア A とエンジニア B の話をしてくれました。その話を聞いた後で私は学生達に調査票を渡して、私の授教の評価をしてもらい、少しずつ学生やほかの先生の意見を取り入れて教え方を変えました。学生達は楽しく勉強するようになり、私との関係もよくなりました。それは大学からも評価され、毎年私の地位は上がりました。

皆さん、友人のアドバイスを聞いた時、怒って聞かなかったら、私は大学の先生として失敗したかもしれません。仕事をする時知識は必要ですが、それは一番大切なものではありません。本当に大切なことは一緒に仕事をしている人との関係です。いい関係のために、意見を言うべき時、言ってください。ほかの人がアドバイスをした時、それを聞いてもう一度考えてみてください。皆さん、人々は誰でも自分の悪い所を直したいし、もっといい仕事をしたいと思っています。だから、周りの人の意見は必要です。ほかの人の意見を聞きましょう。

嫌いなこと



嫌いなことは好きになることができます。

皆さん、今日は皆さんは子供の時、何か嫌いなことがありましたか。例えば、野菜ぎらいとか早く起きるのが嫌いなどです。たぶん皆さんはそのように嫌いなことがあったでしょうね。今もまだそれが好きではありませんか。

私は子供の時、音楽が好きではありませんでした。聞いたことはありましたが、興味が持てませんでした。嫌いなのに、どうしてもクラシックギターを勉強しなければならませんでした。なぜなら、これは私の両親の命令だったからです。

最初のレッスンへ行く前、私はいやでいやで行きたくなくて、自分に「ヘイロン君、あなたは運が悪いですね」と言いました。その最初のレッスンでは私は何も勉強しませんでした。先生からいろいろな曲を弾いてもらっただけです。意外なことに、レッスン中、先生の弾いている曲を聞きながら、なかなかいいなあと思うようになりました。それから、毎日、私はギターを練習して、難しくてもがんばって、時々その曲を最後まで弾けるようになるために、夜中までも休むことなく練習しました。少しでも、先生のように上手に弾けるようになりたかったのです。その後はたくさん勉強すればするほどクラシックの良さが分かるようになりました。

今は私にとって、音楽は測ることができないくらい大切です。ストレスがあった時、音楽を聞いたら、あるいはギターを弾いたら、心が軽くなって落ち着きます。音楽は寂しさを半分に、喜びを二倍にしてくれます。音楽は私の友達ようだいつも感じています。ある人によると音楽は精神の言葉だそうです。もし私はギターを学ばなかったら、その言葉の意味は今でも分からなかったでしょう。

ギターのレッスンをきっかけに、私は音楽が好きになっただけでなく、ほかのことも分かるようになりました。それは嫌いなことでも、好きになることができるということです。大学生の時のことです。ある日、私たちのサッカーのチームに新しい選手が来ました。私はその人にいろいろ話しかけましたが、彼はつまらなそうに返事をするだけでした。だから、私の第一印象はあまり良くありませんでした。しかし、家に帰って、音楽の経験を思い出して、私はもう一度その人と話してみようと思いました。話してみたら、その人と私の同じ点が多いことが分かって、とてもいい友達になりました。

皆さん、私達の周りには数えきれないほどの物がいつも存在しています。その中で、私たちの好きな物もあるし、嫌いだと感じられる物もあると思います。しかし、どんな物でも、どんなことでもいい点があるかもしれません。

皆さん、今何か嫌いなことがありますか。その嫌いなことをもう一度やってみてください。もう一度いい点から見てみてください。もし、その後好きになったら、あなたの生活はもっと広がって、今よりすばらしいものになるのではないのでしょうか。

先生方へ



AYF というこの日本語に先生方のお陰で私達は楽しく

日本語の勉強に成功しました。

一年間以上、先生方は日本語を面白く、

易しく教えてくださったのみならず、

私達を自分の子供達のようにお世話してくださり、

いろいろ教えてくださいました。

先生方のあたたかい気持ちに対して私達は心から感謝しております。

また、英語や科学の先生方のご厚意も深く感じられます。

AYF 七期生



姓名 : MD. モホッボト アリ
生年月日 : 1970年 10月 20日
専門 : 会計学
国籍 : バングラダシュ
Eメール : mohobbot70@yahoo.com



姓名 : ウィスヌ ワルダナ ハリアディ
生年月日 : 1972年 5月 4日
専門 : 法律 : 国際法
国籍 : インドネシア
Eメール : wisnu_hariadi@yahoo.com



姓名 : タンマボンサー ブンナーリウム
生年月日 : 1977年 1月 6日
専門 : 地域開発
国籍 : ラオス
Eメール : b22bot@hotmail.com



姓名 : キン タン ミン
生年月日 : 1971年 10月 4日
専門 : 薬学
国籍 : ミャンマー
Eメール : ktmyint@yahoo.com



姓名 : ファム ヴー タン ロン
生年月日 : 1979年 8月 8日
専門 : 資本市場
国籍 : ベトナム
Eメール : pvtlong@yahoo.com



姓名 : スコンタラット ニティシリ
生年月日 : 1978年 2月 16日
専門 : 銀行のリスクマネジメント
国籍 : タイ
Eメール : netty1737@yahoo.com



姓名 : オンスンアン
生年月日 : 1971年 12月 4日
専門 : 環境工学
国籍 : マレーシア
Eメール : ongsoonan@yahoo.com



姓名 : アマポーラ ヘネロサ
生年月日 : 1976年 1月 29日
専門 : 環境経済学
国籍 : フィリピン
Eメール : fapp76@yahoo.com



姓名 : シュバッシュ チャンドロ ダス
生年月日 : 1968年 4月 20日
専門 : 家禽学
国籍 : バングラデシュ
Eメール : scdasbiju@yahoo.com



姓名 : イェッシ ペルマナ
生年月日 : 1975年 11月 29日
専門 : 触媒化学工学
国籍 : インドネシア
Eメール : yessipermana@yahoo.com



姓名 : ジョ ソー ウィー
生年月日 : 1974年 1月 14日
専門 : 広域地質学
国籍 : ミャンマー
Eメール : kyawsoewinmm@yahoo.com



姓名 : ジリヤポーン サウトン
生年月日 : 1975年 7月 6日
専門 : バイオメカニクス、機械工学
国籍 : タイ
Eメール : enjarisa@cc.ubu.ac.th,
gamyuy@yahoo.com



姓名 : ソン コサル
生年月日 : 1977年 11月 26日
専門 : 会計学
国籍 : カンボジア
Eメール : songkosal@hotmail.com



姓名 : リャオ チチェン
生年月日 : 1978年 10月 20日
専門 : 機械工学
国籍 : マレーシア
Eメール : chowel@hotmail.com



姓名 : ピン ピドー
生年月日 : 1975年 11月 11日
専門 : 電気通信
国籍 : カンボジア
Eメール : pidormobitel@hotmail.com



姓名 : ブンヘン スティシャック
生年月日 : 1977年 3月 15日
専門 : 環境工学
国籍 : ラオス
Eメール : henge2001@hotmail.com,
hengze2000@hotmail.com



姓名 : 陳美玲
生年月日 : 1975年 10月 9日
専門 : 材料工学
国籍 : シンガポール
Eメール : helen_tanml@hellokitty.com



姓名 : アントニー シンコ セレス
生年月日 : 1968年 5月 15日
専門 : 微生物学とマイコトキシンの検査
国籍 : フィリピン
Eメール : tonysales@mailcity.com

一年間生活



AYF プログラムの スタッフの皆様

マレーシアの生活で

何不自由なく幸せに暮らすことができたのは
AYF プログラムのスタッフの皆様のおかげです。

いつもお忙しいにもかかわらず、

私達がお願いしたら

私達のために小さいことから

大学を探すことまで

やってくださった AYF プログラムの

スタッフの皆様、

誠にありがとうございました。

AYF 7 期生のホームページへようこそ



<http://www.ayfonline.cjb.net>

もしAYFでの生活、
メッセージボード、フォーラム、
写真、その他のリンクを知りたいなら、。。。

どんな時でも
ここに住んでいても
いつまでも友達でいましょう。

<http://www.ayfonline.cjb.net>